



國字水滸傳九編

上

第十二回

首

急先鋒

東郭爭功

柳亭種彥譯

歌川國芳畫



^ 13
3812
9



門 13
3812
9

辛卯
春販

國水許傳九編

種彦譯

仙鶴堂梓

國芳畫

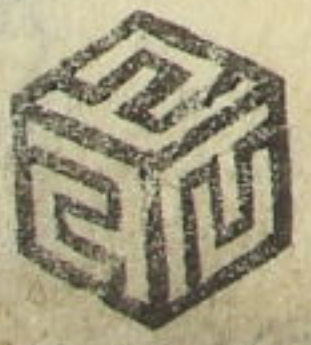
冊上

一

讀ぬ小説せうせつふ天窓あままどをころり走らぬ朱筆しゆひつふ心氣こころけを勞あそせど年としごとあそそす
歌舞妓かぶきがまの繪草紙えくさしよひきうて正面露臺まへまへよま欄らんをころりつり
下座げざへよせて大湖おほうみの花石はないし海棠えいようの釣枝つりえだといふやうなるあつらふ心こころかり
廿話場にじふわだばかか草料場山神廟くさりょうばやまのかみの三人さんにん斬朱貴きりしゆきが店みせまで雪ゆき
あか三幕さんまく段だんころみやうく至いたる楊志やうしが傳でんふらうやうかど花水橋はなみづはしと
ころのやうふがく書かて事ことをりるまがく天漢州橋てんかんしゅうはしか馬うまも
駕籠かごももこやうちんと唐からゆるせねばうち見みかこほしふとひくるべき
十六七じゅうろくにんのおももの少すくき狂言きやうげんめく腹はらよ合あはる學者がくしやのま似まに書か
房ぼうのののの黙止もくしがて松まつとまきとるままであしてのころも看み
官小喝采くわんせうかくさいらるるべきころあそあそむ

文政 己丑初冬稿脱
辛卯孟春發販

柳亭種彦



大許傳二編

三

北京大名府の留守司梁中書



伏斧鉞將
天罰



大名府の正牌軍
急先鋒索超

ついでにこれらもあらわす
 ののめり入揚志はまてえ
 ふあへの人のいさぎ
 ひびきとあるまはるき
 びびりてつていさぎ
 名目と府尹るあつて
 るうも三つひや六つ
 ちあひひくられらるま
 牛二かあつていさぎ
 まるやまのあつていさぎ
 ついでにこれらもあらわす
 大名府留守司充軍の
 のりけりいさぎいさぎ
 首軍ふあつていさぎ
 の七作将のいさぎ
 揚志はまてえ
 その名目とあつていさぎ
 まつていさぎいさぎ
 まつていさぎいさぎ
 久はまつていさぎ
 まつていさぎいさぎ
 揚志はまてえいさぎ



楊志

張龍

趙東

のりけりいさぎいさぎ
 りさぎいさぎいさぎ
 りさぎいさぎいさぎ
 揚志はまてえいさぎ
 をあつていさぎいさぎ
 のりけりいさぎいさぎ
 のりけりいさぎいさぎ
 北京へ
 張龍趙東と
 楊志はまてえいさぎ



楊志はまてえいさぎ

久遠傳ナ解

五



趙虎

楊志の
 北京の
 なる

楊志の
 北京の
 なる



楊志

張龍

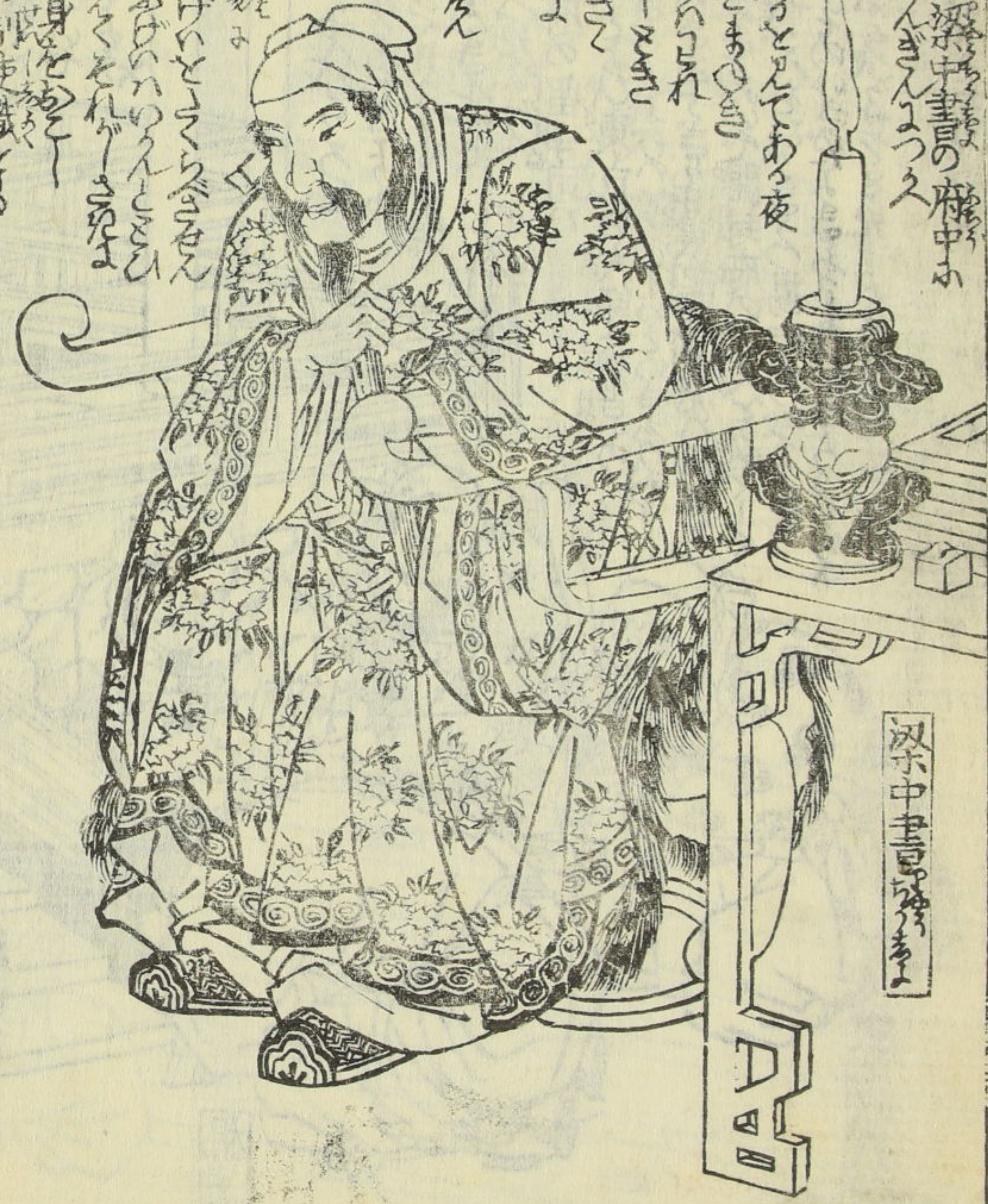
くつてのち揚志の梁中書府の中
ありてありこれいんぎんよつ久
先が梁中書

まめくくつうつととてあつ夜
ひそふ揚志をまの言
さくちのていひるるいれ
とんきんよわりのまき
らんぢがあつのまき
やあつらる由あつ

今わりのちひ
副殿の職をさうえ
ゆれとあつ考ん
らんぢあつ

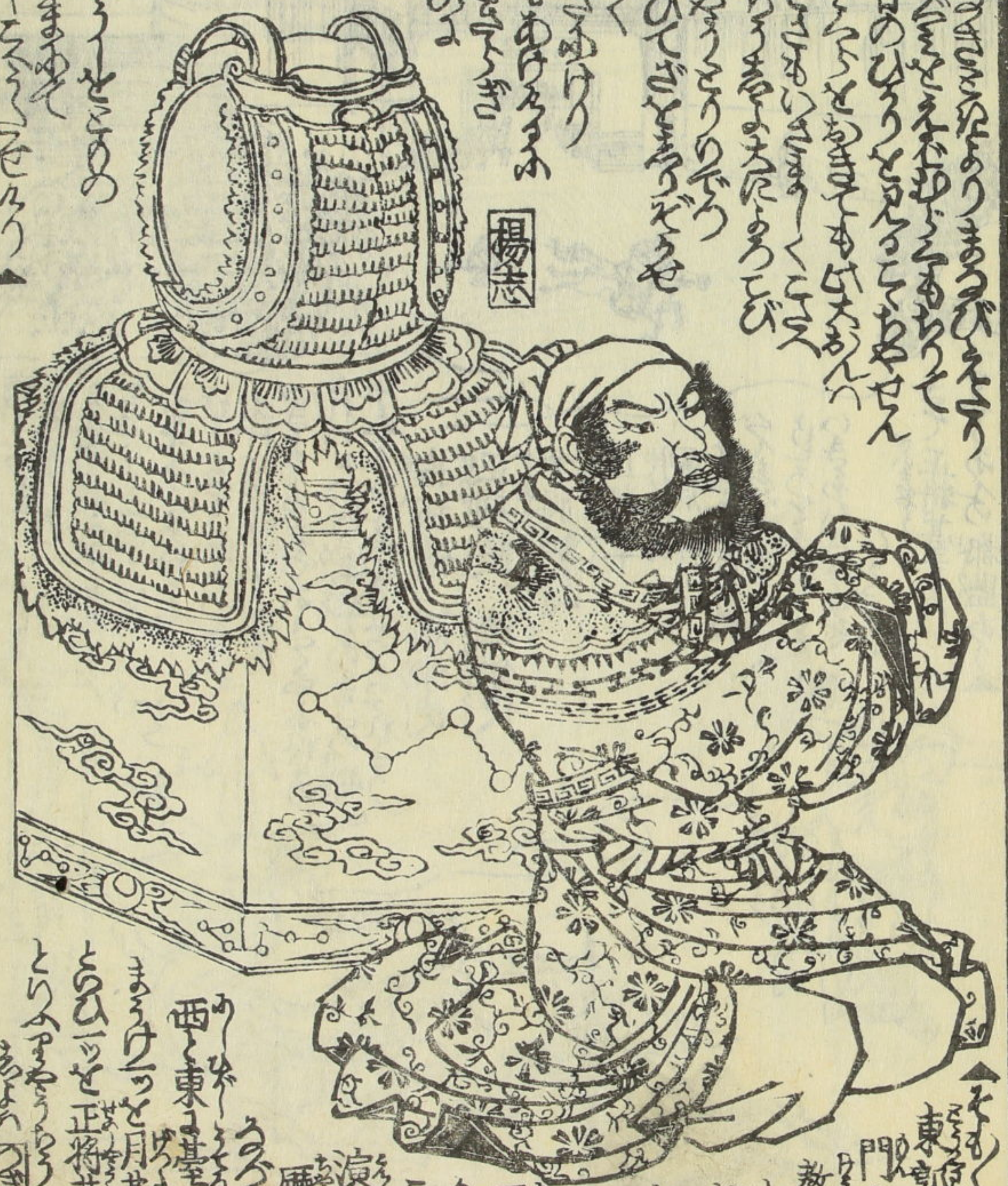
東郭門の教場
人をつとめあつとららるん
あつとららるんあつとららるん
らんぢ揚志のまきとららるん
あつとららるんあつとららるん
まき殿司府の制使職とららるん
あつとららるんあつとららるん

二の巻



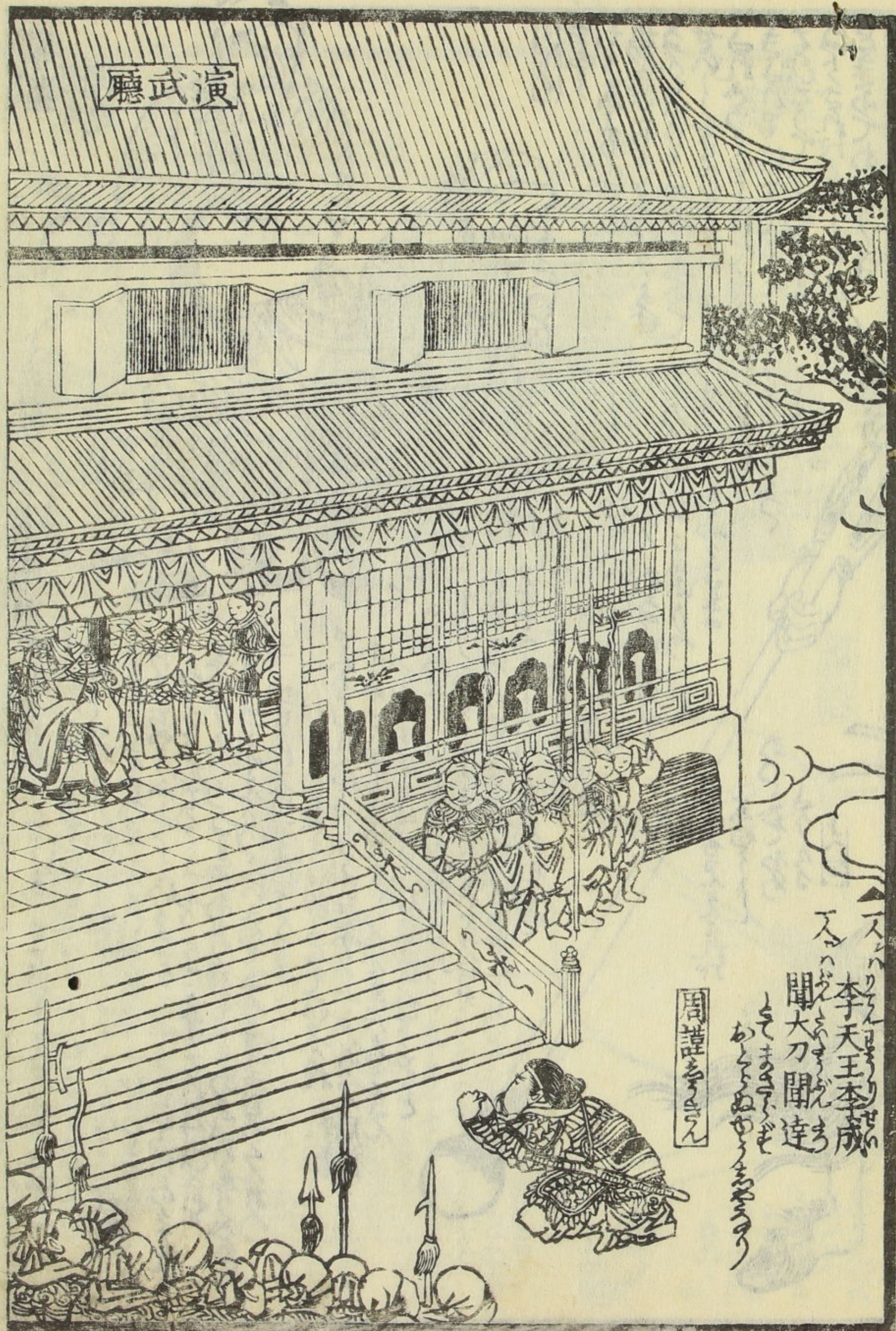
梁中書府のまき

東郭門の教場
人をつとめあつとららるん
あつとららるんあつとららるん
らんぢ揚志のまきとららるん
あつとららるんあつとららるん
まき殿司府の制使職とららるん
あつとららるんあつとららるん



東郭門の教場
人をつとめあつとららるん
あつとららるんあつとららるん
らんぢ揚志のまきとららるん
あつとららるんあつとららるん
まき殿司府の制使職とららるん
あつとららるんあつとららるん

二の巻



李天王李成
聞大乃聞達
周謹



正將臺
指揮使 團練使
正使使 統領使
牙將 較尉
正牌軍
副牌軍
すぐこれの
ぐんさうごもまへ
じろさうごもまへ
ひまひひまを
ひまひ
正將臺の
都監あり



武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守



武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

武蔵守

楊志

武蔵守

武蔵守

第十二回尾

青面獸

北京鬪武

種彥譯

國芳畫

國字水滸傳九編

下

國字水滸傳九編
 柳亭種彦譯
 歌川國芳画
 東都繪草紙問九仙鶴堂梓
 下冊



水滸傳九編

一



素超
金藤
斧と
揮て
揚志
戦ふ

馬場の門さのへて
これたるとはるの
あつてはるの
あつてはるの
あつてはるの
あつてはるの
あつてはるの

合つたれども
さつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども

あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども



下
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども

あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども
あつたれども



ひきまゝの
つらさを
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

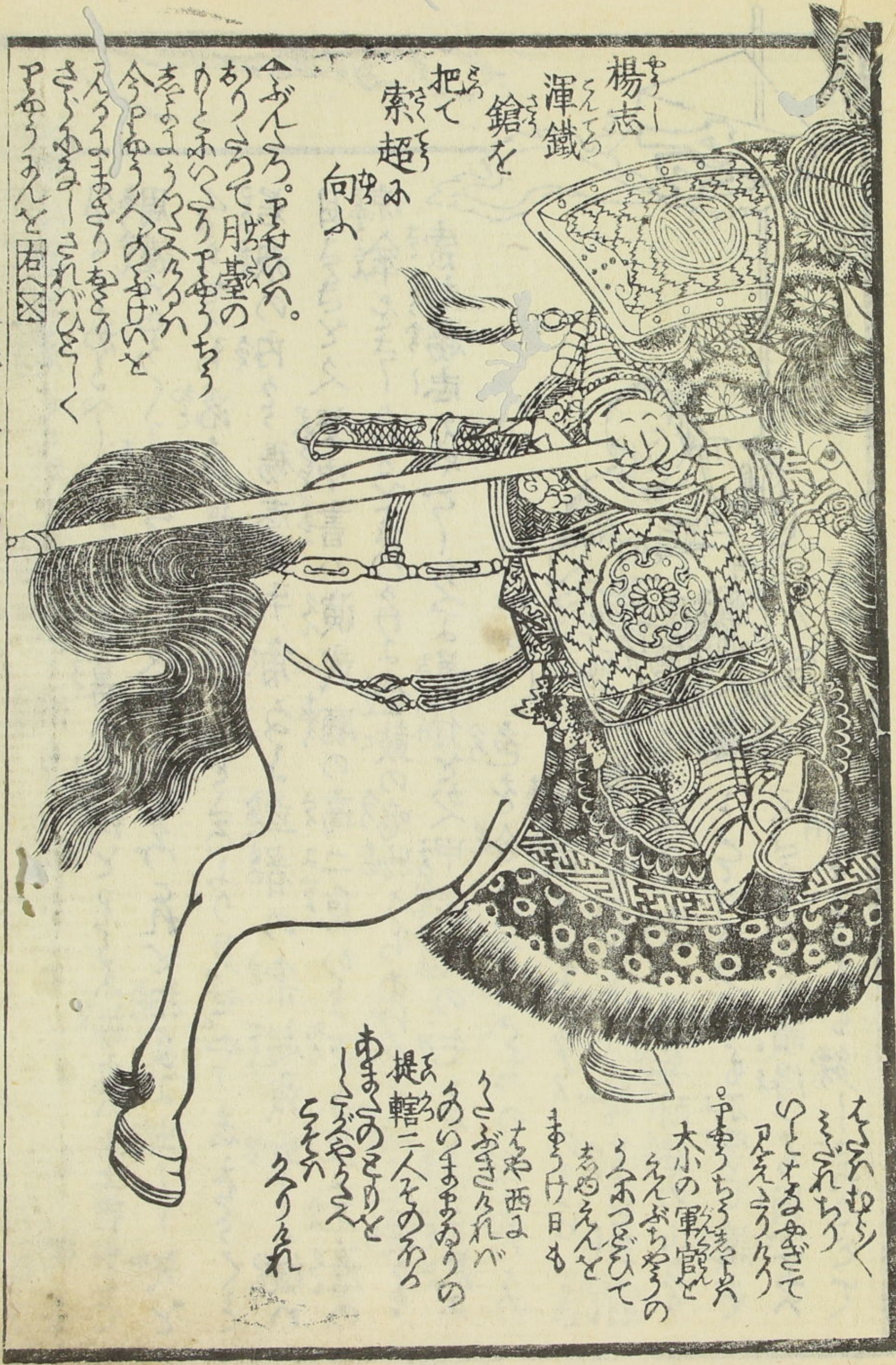
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ



楊志

渾鐵

鎗を

把て

索超
向ふ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ
あつとせよ

六傳九録

評

小説と著者との狂言と編も人の目をよつてをくむる趣も
 ひらひらかるべし。は長幕の仕組と云ふは楊志の上上吉ゆして
 周謹のやうくよきくゑの役者なり。まづこれと相なよ出一矢と
 くらせうち落させ楊志の仕うちと云ふ見せ。やア志をくくと
 若衆の内から楊志と牛角の立者の索超我出一後ハ
 目とこと久梁中書ハ演武廳の高二重か下下して三層の
 涼傘をさうくつるとまのうけよ金鼓の鳴物うちあげると兩花道より
 索超楊志をさうくつるとまのうけよ着付と又甲馬の毛まで赤白黒の
 色を分ち立者どりの位置ハの
 周謹と云ふものなり。のまのうけよ
 と云ふ大いふ舞臺と目前
 なるか如く是は耐菴の山より
 と云ふついても不学で讀む
 又云ふく讀得ても国字の
 解さるるも多しと云ふこと



四

衣裳附を吹シハの袂ハ前後のくまひ同やうなるもの
 ろくくは長幕の仕組がはららむるゆゑは花袍と云ふく體
 直垂さんごとのあまらるる推量されどんごころを事めを
 あんたる總てこのくまひくまひと筆のららぬめくまひく
 同志堂の正本と見まふべし

種彦謹記

今日もさうまの
 ちうさうのやうな
 ひらひらかるべし
 ろくくは長幕の仕
 直垂さんごとのあ
 あんたる總てこの
 同志堂の正本と見
 まふべし



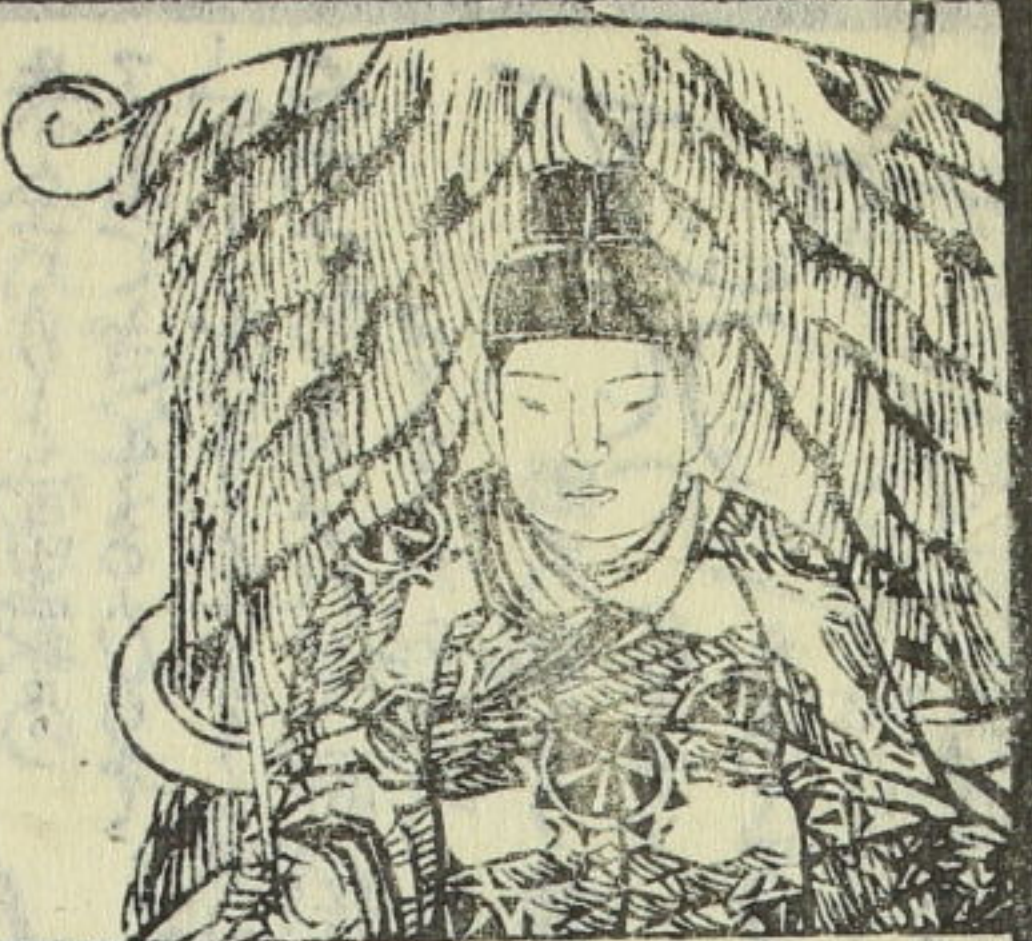
大許傳七編

十五日あまたあるのまはるる
つるひもあまたあるまはるる
あまたあるのまはるる
あまたあるのまはるる



馬兵都頭
義醫公朱全

▲そのエのひまらふていひ
そのエのひまらふていひ
そのエのひまらふていひ
そのエのひまらふていひ
不在話下



知縣相時文彬

つるひの二千八と
又二千の士兵を
あづかり一人と馬兵を
つるひの二千八と



歩兵都頭
梅翅虎雷横

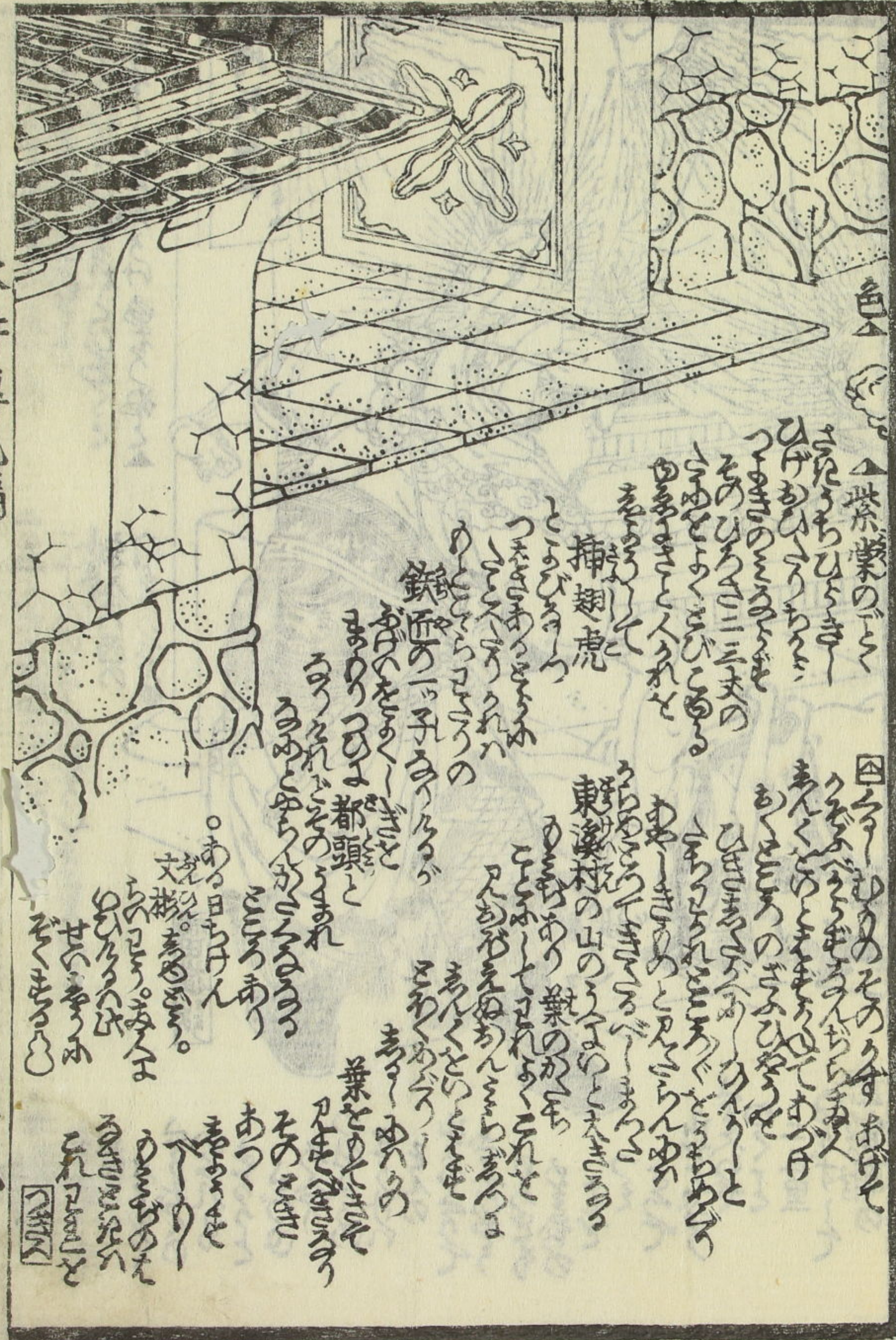
知縣山東濟州鄆城縣の姓名の時名の
文彬といふのありこれとの知縣あり
又それを下司は都頭といふ職二人あり
一人を歩兵といふとよび槍の工とよび

二十人といふは
八尺四寸といふは



朱全忠の
 子ゆてきとまのひりて
 朱全忠の
 子ゆてきとまのひりて
 朱全忠の
 子ゆてきとまのひりて

雷横の
 水郷
 梁山泊
 官軍と入
 雷横の
 水郷
 梁山泊
 官軍と入



色
 茶葉の
 挿翅虎
 鐵匠の子

東漢村の山の
 業の
 都頭
 文彬
 業の
 都頭
 文彬

天保七年申春新彫

赤かしの葉あらい
 羨艶仙女香半八羽
 南條守則
 三丁目西側
 坂本氏製衣
 あらぐほり
 黒油羨玄香半八羽
 坂本氏製衣
 結巻右衛門



國芳畫種彦譯

筆耕千形道友

柳亭
 所好新形
 所きせり
 不しく形

浅草市の日
 羨出シよ
 黒船町
 村田

れいさんてんふ
 ろひんろ
 男はこれ
 めんづめを
 十編の
 ろんざ
 えん

山東京山作
 琴声女房形氣 全四冊

歌川國貞画

五柳亭徳井作
 森羅萬象心意氣 全四冊

歌川國芳画
 柳亭種彦作

八冊
 浮波さびし

歌川貞秀画

関亭傳実作
 烏勘左衛門忠義傳 全四冊

歌川國芳画

宝田千町作
 稲葉山操の松枝 全四冊

歌川國芳画
 笠亭仙果譯

歌川國芳画
 國字水滸傳 十四編 四冊

歌川國芳画

書物錦繪
 團扇地紙
 江戸通油町
 問屋鶴屋喜右衛門

